

MYSDOKU16 久住四季『星読島に星は流れた』行動表

!!作品内容に触れています!!
!!閲覧注意!!

※久住四季『星読島に星は流れた』(東京創元社 2015年3月20日初版)に基づき作成した。「▼」は後から判明したこと。

No.	一日目		二日目		三日目		四日目		
1	朝		p.114	午前六時前に就寝。			p.231	館へ戻る。美宙を診察。三時間ほど眠って午前九時に目覚める。船着き場へ。	
2							p.234	午前十時。セグウェイに乗って美宙が来る。	
3							p.250	美宙が デレるミ☆ 午前十時三十分。ボトルを発見。	
4	昼	p.20	午後一時、ボストン港へ。十分ほど遅刻。エリスに声をかけられ、クルーザーに乗る。	p.114	午後一時過ぎに目が覚める。エリスが朝食を作ってくれる。	p.157	昼過ぎに目覚め、ロビーに下りると、マッカーシーと隕石が消えた騒ぎに。	p.255	正午頃、広間に集合。散歩にでかけたサラ博士に、サレナは他の参加者と面識がなかったか訊く。館へ戻ると、隕石が見つかったという。
5		p.29	クルーザー上で美宙、マッカーシーと初顔合わせ。隕石の価値を知る。	p.118	散歩。マッカーシー、アレクと同道することに。西側の崖へ。	p.163	館の外へ。美宙が追いかけてくる。船着き場でマッカーシーの溺死体を海から引きあげる。	p.266	午後三時、ロビーに集合。船着き場へ。隕石をみつめるうち、真相に気づく。
6		p.41	島に到着。ダイブのセグウェイに荷物を預ける。			p.169	シャワーを浴びてから、全員で船着き場へ。検死。	p.269	午後四時過ぎ。船着き場で推理を語る。
7		p.52	星読館に到着。部屋へ。屋外スペースで、美宙からサラ博士の過去を聞いていると、当人が登場。			p.176	館の広間へ戻る。アレクの提案で各人の部屋を捜すが空振り。辺りも捜すことに。美宙、ダイブと共に捜索しつつ疑問点を整理。		
8		p.64	午後四時前、ロビーに集合。アレク、サレナが自己紹介。						
9	夜	p.72	午後七時、夕食(エリスのロシア料理を美宙と一緒に手伝った)。星座の刻印の意味が明らかに。	p.130	午後七時、エリスのフランス料理で夕食。	p.194	午後七時、広間に集合。味気ない夕食。アレクが自室へ。プラスチックボトルをエリスに頼む。美宙と一緒に、サラ博士に隕石を誰に渡すつもりだったか訊く。		
10		p.81	午後八時前、面談開始。一番目のアレクは三十分もせず戻ってくる。マッカーシーと口論に。	p.135	午後十一時、酒盛りをしていると、衝撃音が。隕石を探すことに。	p.203	午前零時前、美宙が外部と連絡できるか試す。		
11		p.82	二十分ぐらいでマッカーシーが戻ってくる。続けてエリス、サレナが呼ばれる。美宙のプロフィールが判明。美宙、ダイブが面談。	p.149	サラ博士と共に隕石を発見。館へ運ぶ。	p.205	午前二時前。アレクが水を頼む。ダイブ、エリスと一緒にボトルの実験にでかける。		
12		p.96	午後十一時、盤が呼ばれる。サラ博士が島にいる理由、地球最後の日が来たら、何をしますか。	p.159	▼サラ博士の証言では、午前二時ごろまで、隕石はあった。	p.212	午前四時前、館へ戻る。ダイブと一緒に美宙の作業を見守る。		
13				p.157	午前二時、解散。午前三時、眠りに落ちる。	p.228	▼サレナの死亡推定時刻は午前五時の前後三十分。		
14				p.174	▼午前零時から四時がマッカーシーの死亡推定時刻。ただし午前二時まででは生きていた。	p.213	妻と娘を喪った夢。美宙を救うため海へ。サレナの死体を発見。		
15						p.225	ダイブを起こし、救援を頼む。アレクがサレナの死体にロープを結わえ、引き揚げる。		

■登場人物一覧

加藤盤(35)
マサチューセッツ州レイラタウンの家庭訪問医。

サラ・デライト・ローウェル
天文学者。

マーク・ローウェル
天文学者。サラ博士の父。

エリス・バーナード
アメリカ航空宇宙局(NASA)ミッション支援局戦略渉外担当。

美宙・篠崎・シュライナー(18)
プリンストン大学工学大学院で博士号を取得したコンピュータサイエンスの天才。

コール・マッカーシー
隕石回収業者。

デイヴィッド・グロウ
専業ニート。

アレクサンダー・ジョン・ウィルキンス・クレイトン
スミソニアン博物館の代表。

サレナ・カーペンタリア
陰気な感じのする女。離婚調停中。

ヨランダ・スワン
盤の担当患者。

ディラン
ヨランダの長男。ボストン市内在住。

エリー、ミラ
盤の妻と娘。

■時期

ヨランダを診察したのは十月初週の金曜日(p.5)。
集いがあったのはそれから二週間後の木曜日から三泊四日(p.19)。
事件から三週間後、十一月第三週の金曜日に再びヨランダを診察(p.287)。
これは2010～2014年では、2012年、2013年、2014年が該当する。

■過去の出来事

三十年前

p.56 島で初めて隕石をみつけた。

二十七年前

p.57 島に隕石が落ちてきた(二回目)。

p.123 マッカーシーが島に初めて来た。サラ博士はハワイで学生だった。

二十年前ぐらい

p.57 館が完成。

時期不明

p.26 ハワイの大学でサラ博士は准教授、エリスはその教え子だった。

十年前

p.126 マーク氏の操縦する小型セスナが墜落、サラ博士も大怪我。

p.26 星読館での集いが始まる。

五年前

p.10 盤が妻と娘を喪う。

五年ほど前

p.134 ロンドンで老紳士が通りを何度も往復。

四年前

p.38 島へ隕石が落ちてきた(事件以前ではこれが最後)。

二年前

p.89 美宙が弱冠十六歳にしてプリンストン大学へ。

今年

p.136 島へ八度目の隕石が落ちてくる。